

秋田の土地改良

3

2013・MAR



「本海獅子舞番楽 下直根講中」秋田県中仙間ふるさと・水と土フォーラムより (H25.2.23)

被災地の一日も早い復興を、お祈り申し上げます。



がんばれ東北! がんばろうニッポン!!

目次

水土里ネット秋田第55回通常総会が開催される……………	2	特集：農業水利施設内の「ゴミ」問題(シリーズ⑫)……………	12
平成25年度農業農村整備事業関連予算の概要……………	4	農業基盤整備資金について(お知らせ)……………	13
モミガラ補助暗渠実施状況・効果について……………	6	水土里情報システムの新たな活用!……………	14
秋田県土地改良区統合整備検討委員会が開催される……………	7	会員だより、連合会日誌……………	14
土地改良区の会計システム(水土里ネット秋田版)について…	8	中山間ふるさと・水と土フォーラム～伝えよう!秋田と農村の魅力～…	15
新設「馬場目川水系土地改良区」が誕生!……………	9	ふるさと水と土指導員からの報告……………	16
全国土地改良功労者表彰(全国水土里ネット総会)……………	10	特集：地域からの情報発信(水土里レポーター・矢野二郎)…	17
大仙市協和小種土地改良区が農林水産大臣賞を受賞!……………	10	2012「ふるさと水と土」子ども絵画展……………	18
秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会……………	11	インフォメーション……………	18



●発行所 秋田県土地改良事業団体連合会 〒010-0967 秋田市高陽幸町3番37号
 TEL 018-888-2750(代) FAX 018-888-2834
<http://homepage2.nifty.com/akidoren/>



第55回通常総会

● 平成25年度事業計画などを承認 ●



3月15日(金)、本会第55回通常総会が秋田市文化会館において、会員112名(内委任状52名)が出席、来賓として佐竹敬久秋田県知事、鳩山正仁東北農政局次長、小松隆明秋田県議会副議長、藤井英雄秋田県農林水産部長ほか、関係者多数のご臨席をえて開催された。

総会は、高貝会長が「国、県の施策に対応しながら、各種事業の円滑な推進に尽力することはもとより、食料自給力向上に資する農地整備の推進に対する支援や、会員の事務合理化への支援など、新たなニーズに沿えるよう、更なる技術力の向上を図りながら、豊かで活力ある農村の創造に向け、役職員一丸となって邁進して行く」などと挨拶、功労者表彰として、優良団体6団体及び個人13名の表彰が行われ、続いて来賓の方々が祝辞を述べられた。

議事では、始めに渡邊聡之おものがわ土地改良区理事長を議長に選任し、引き続き、平成23年度事業報告及び一般会計収支決算、平成24年度一般会計収支補正予算(理事会専決処分)、平成25年度事業計画及び一般会計収支予算、役員報酬などが審議され、提出議案は全て原案どおり議決された。

事業計画では、従来からの事業展開に加え、食料自給力向上に資する農地整備の推進に対する支援、会員の事務合理化への支援、水土里情報利活用への支援、農業水利施設アセットマネジメントの推進、小水力発電等の再生可能エネルギーの普及並びに防災・減災対策への支援に重点を置き、積極的に活動を展開して行くことが掲げられた。

さらに、任期満了に伴う役員選任も議決され、理事13名、監事3名(別掲)が選任された。最後に、黒子専務理事により、決議文(別掲)の朗読があり、満場の承認を得て採択され、総会は終了した。

なお、今回表彰された土地改良功労表彰(優良団体、個人)の受賞者は次のとおり。



団体表彰

- ◇金章 井川町土地改良区、にかほ市土地改良区
- ◇銀章 能代市東土地改良区、大潟土地改良区
由利本荘市鮎川土地改良区
- ◇銅章 雄和土地改良区

個人表彰

加賀谷久、武内浩、佐藤順子、伊藤繁美、浅野明美、小川久、佐々木昭彦、判田勝補、山崎淳子、佐藤忠太郎、高橋弘志、矢野二郎、加藤満 (敬称略)



新役員名簿

区分	氏名	所属団体名・職名	区分	氏名	所属団体名・職名
理事	田口 信一	かづの土地改良区理事長	理事	小畑 元	大館市長
	畠山 清俊	比内町土地改良区理事長		長谷部 誠	由利本荘市長
	田中 長	琴丘土地改良区理事長		松田 知己	美郷町長
	佐藤 國夫	秋田市旭川筋土地改良区理事長	員外理事	清野 弘久	学識経験者
	正木 正一	大内土地改良区理事長		水戸 憲光	学識経験者
	高貝 久遠	秋田県田沢疏水土地改良区理事長	監事	小川 善信	能代南土地改良区理事長
	柴田康二郎	秋田県雄物川筋土地改良区理事長		鈴木 清	男鹿東部土地改良区理事長
	大坂 芳市	雄勝郡山田五ヶ村堰土地改良区理事長		藤井 弘道	秋田県南旭川水系土地改良区理事長

決 議

我々の先人は、農地や水路などの維持とその機能向上に、優れた英知を集め、献身的な努力を積み重ねるなど、国の大本である農業・農村の健全な発展に役割を果たすことにより、豊かな国土や良好な自然環境を育んできた。

しかし、昨今の農業・農村は、過疎化、高齢化並びに担い手不足を起因とする地域活力の低下などの課題が山積するとともに、農業水利施設の老朽化と相まって、食料自給力の向上に支障を来している。

加えて、平成22年度の大規模な削減以来続いた農業農業整備予算の低迷は、我が国農業・農村の持続的発展に大きな不安を抱えるものとなり、さらに、TPP交渉の如何によっては、日本の食と農業・農村に甚大な影響を与えることとなる。

こうした中で、昨年末の政権交代を受け、来年度の農業農村整備予算は、今年度の大型補正予算と合わせた「15ヵ月予算」として、削減以前の水準に復活計上されるとともに、これら公共事業執行に伴う地方負担の軽減を目的とする元金臨時交付金の特例が措置されている。

今こそ、集落営農を含む担い手への農地の集積を推進し、経営規模の拡大を大きく加速させることによって、新たな地域営農を切り開いていく必要がある。また、再生可能エネルギーへの国民の関心が高まり、農村の土地・水資源を活用した小水力発電などへの期待にも応える必要がある。

現下の農業・農村の現状と課題を踏まえ、これら関係予算の早期成立と、下記の政策事項の実現を強く要請することを本総会において決議する。

記

- 一、TPP交渉により、日本の食の安全・安心を担い、多面的機能を発揮している農業・農村とこれを支える農家の生産意欲に悪影響を及ぼすようなことは、国として断固行わないこと。
- 一、国民の命を守り、我が国の食と農林漁業を再生するため、老朽化した農業水利施設の保全整備や耐震化の推進等、防災・減災に万全の対策を講ずること。
- 一、食料自給力の向上と担い手への農地集積の加速化を実現し、生産効率を高め、競争力をもった攻めの農業を展開するため、水田の大区画化、汎用化をはじめとした各種の対策を推進すること。
- 一、地域や土地改良施設に係る知見を有する土地改良区の役割を評価し、運営基盤の強化と管理体制の機能充実に支援すること。
- 一、これらの政策推進に不可欠な農業・農村の整備を、国の重要施策として十分な予算を確保するとともに、所要の地方財政措置を継続して講ずること。

平成25年3月15日

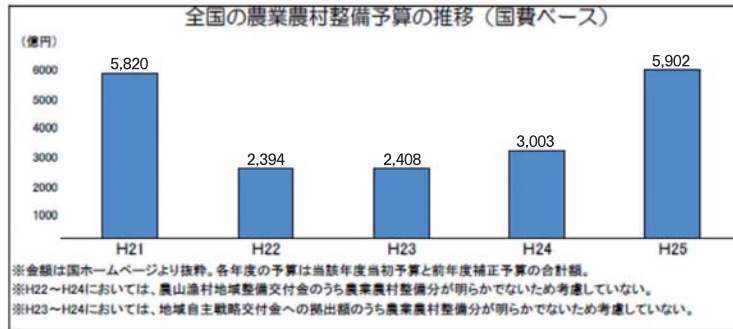
秋田県土地改良事業団体連合会 第55回通常総会

(水土里ネット秋田)

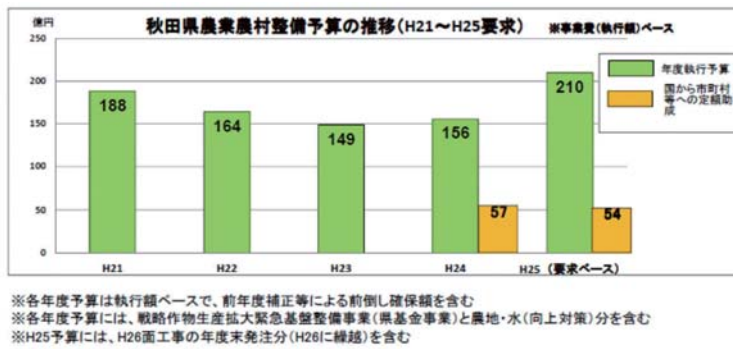
平成25年度農業農村整備事業等予算の概要について

(秋田県農林水産部)

○国のH25農業農村整備事業予算は、農山漁村地域整備交付金とH24補正予算(第1号)を加えると、大幅縮減前のH21当初を上回る予算が計上。



○県のH25執行額は、H24補正とH25当初を合わせ210億円を確保(対前年比140%)。



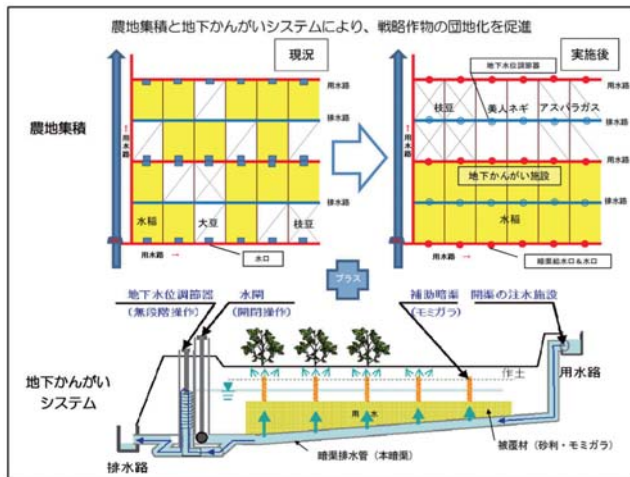
平成25年度からの県が新たにに取り組む事業について

①戦略作物団地化促進万能水田実証事業(H25当初:新規)

戦略作物の生産拡大と団地化の促進を図るため、水系単位の区域において、地下かんがいシステム等を導入した基盤整備の実証事業を実施。

- ・対象地区：1地区(大区画以前にはほ場整備された20～30ha程度の団地)
- ・補助率：国費55%、県費45%

【整備イメージ】



【実証内容】

- 区画整理(面整備)なしで農地集積や戦略作物団地化実証
 - ・作付誘導、ブロックローテーション、農作業効率、営農経費等
- 水管理の合理化・省力化の検証
 - ・水管理コスト低減、節水等
- 大規模地下かんがいシステムの実証
 - ・作物毎の最適地下水位、水温、地耐力、収量及び品質等

効果・検証を踏まえ

今後、大区画ほ場整備以前のほ場を対象に普及拡大を目指す。